

鍼灸国家試験対策  
臨床医学総論・臨床医学各論

# 1. 感染症

## 【出題傾向】

感染症の概要・症状、潜伏期、感染経路、治療等について出題される。また、臨床医学総論では異常となる検査項目が問われる。

## A. 診察・検査・診断

### (1) 熱型

熱型	特徴	原因疾患
稽留熱	日内変動が1℃以内の高熱が持続する。	<b>腸チフス</b> 肺炎、細菌性髄膜炎
弛張熱	日内変動が1℃以上で、平熱まで下がらない。	敗血症、感染症、悪性腫瘍 腸チフス(回復期)、
間欠熱	日内変動が1℃以上で、平熱まで下がる。	敗血症、悪性腫瘍、マラリア
波状熱	発熱と無熱が不規則に繰り返す状態。	<b>ホジキン病</b> 、マラリア
周期熱	発熱と無熱が周期的に繰り返す状態。	マラリア

### (2) 皮膚病変(発疹)

原 発 疹 皮膚の色素変化や表皮下に何らかの物質が貯留した状態		
紅 斑(こうはん)	紫 斑(しはん)	色素斑
真皮での毛細血管の拡張、充血による <b>紅色の色調変化</b> 。	皮膚内出血による <b>紫紅色の色調変化</b> 。	メラニン色素の増加等の色素沈着による <b>黒色や茶褐色の色調変化</b> 。
膨 疹	丘疹(きゅうしん)	結 節
扁平に隆起した真皮上層の限局性浮腫。 <b>じんましん</b> 。	<b>直径 10mm 以下</b> のやや硬く隆起したもの。	<b>直径 10mm~30mm</b> の丘疹と同様に隆起したもの。
腫 瘤	水 疱	膿 疱
<b>直径 30mm 以上</b> で丘疹と同様に隆起したもの。	表皮または表皮下に <b>漿液</b> が溜まり隆起した物。	表皮または表皮下に <b>膿</b> が溜まり隆起した物。

続 発 疹 原発疹が進行し、やぶれたり、陥凹をきたしたり、別組織ができたもの。		
びらん	潰瘍	表皮剥離
表皮基底層までの皮膚欠損。俗に言うただれのこと。	表皮から真皮におよぶ皮膚欠損。びらんが広く深くなったもの。	かきむしり(搔破)や擦過による表皮の皮膚欠損。
痂皮	癬痕	鱗屑(りんせつ)
血液や膿が乾燥して固まったもの。かさぶた。	潰瘍などの組織欠損部が修復されたもの。	角質がはがれ落ちずに皮膚表面に集積したもの。

### (3) 感染症項目にでてくる主な検査

大項目	中項目	概要
血液検査	白血球 (好中球)	<p>健常者では 5,000~8,400/<math>\mu</math>l。原発性血液・造血器疾患や発熱、<b>感染症の疑いのある患者に有用。炎症所見のひとつ。</b></p> <p><b>高値</b> 感染症(細菌等)、心筋梗塞、広範な熱傷、急性中毒</p> <p><b>低値</b> 感染症(ウイルス、クラミジア、リケッチャ等)、再生不良性貧血、SLE、巨赤芽球貧血、脾機能亢進</p> <p><b>生理的白血球増加</b> 新生児および、幼児、運動、月経時、寒冷暴露、陣痛、精神的興奮(発熱、興奮、疼痛)、麻酔、直射日光、紫外線</p>
	赤沈検査	<p>血液が凝固しないように放置すると赤血球と血漿成分が分離する。この現象が赤血球沈降速度または赤沈値という。<b>炎症等があると亢進する。炎症所見のひとつ。</b></p> <p><b>亢進</b> 炎症性疾患(感染症、悪性腫瘍、膠原病活動期)、貧血、妊娠、肝疾患</p> <p><b>遅延</b> 脱水症、多血症、DIC</p>
酵素検査	アミラーゼ	<p>でんぷんを加水分解する酵素で、肺・肝・腎・小腸・卵巣に分布する。増加の原因としては、①膵実質の破壊病変、②膵管、総胆管、ファーター乳頭部の閉塞障害、③腸管からの再吸収障害、④唾液腺の病変、⑤肝障害、⑥肺癌による異所性産生、⑦子宮外妊娠破裂、⑧腎不全等が考えられる。</p> <p><b>高値</b> 急性膵炎、慢性膵炎、膵癌、イレウス、耳下腺炎</p>
免疫血清検査	CRP	<p><b>炎症または組織壊死時に最も著しい増加を示す蛋白。炎症所見のひとつ。</b>赤沈亢進とCRP高値はほぼ同様な病態でみとめられる。</p> <p><b>高値</b> 炎症性疾患(細菌感染症、悪性腫瘍、膠原病活動期)、心筋梗塞</p>
感染症検査	ASO	<b>高値</b> 溶連菌感染(扁桃炎、猩紅熱)、リウマチ熱、急性糸球体腎炎
	ASK	<b>高値</b> 溶連菌感染(扁桃炎、猩紅熱)、リウマチ熱、急性糸球体腎炎
	ワッセルマン反応	補体結合試験のひとつで、血清(抗体)、抗原、補体を混ぜ反応させる。 <b>高値</b> 梅毒
	TPHA	梅毒トレポネーマの菌体成分とゼラチン粒子を反応させる検査。 <b>高値</b> 梅毒

### (4) 感染経路

水平感染		
感染経路	感染の流れ	主な疾患
接触感染	<p>感染源(感染者)に直接接触することによって感染する(直接接触感染)。</p> <p>または医療機器などを介して接触することにより感染する(間接触感染)。</p>	<p>接触:炭疽</p> <p>性交:性感染症 (梅毒、B型肝炎、HIV)</p> <p>土壌:破傷風</p> <p>咬傷:狂犬病</p>
飛沫感染	<p>感染源(感染者)の咳や飛沫などに含まれる病原体が体内に入ることによって感染。</p> <p>感染源の1~2m以内で起こるとされている。</p>	<p>インフルエンザ</p> <p>百日咳、ジフテリア</p> <p>マイコプラズマ</p>

空気感染	感染源からの病原体を含む飛沫の水分が蒸発し、広く空气中をただようことにより感染(飛沫核感染)。 または病原体がちり・ほこりと一体になり空气中をただようことにより感染(塵芥感染)。	飛沫核:麻疹、水痘、結核 塵芥:結核、オウム病、 Q熱、レジオネラ症
媒介物感染	病原体に汚染された媒介物に接触、または摂取することによって感染。	血液: B・C型肝炎、HIV 水 : コレラ、赤痢 食物: 食中毒 その他: 眼感染症
媒介動物感染	病原体が人とは異なる動物を介して、人へ感染。	腸チフス、コレラ、赤痢 マラリア、ツツガムシ病

垂直感染(母子感染)		
感染経路	感染の流れ	主な疾患
経胎盤感染	出産前に胎児が胎盤を通過した病原体によって感染。	風疹、梅毒、 サイトメガロウイルス、 トキソプラズマ症
経産道感染	分娩時に胎児が産道や母体血液中に存在する病原体によって感染。	B型肝炎、淋病、HIV、 クラミジア
経母乳感染	出産後に母乳中に分泌される病原体によって乳児が感染。	成人 T 細胞白血病、HIV

## (5) 予防接種法

予防接種を行う疾病 (勧奨するもの)	ジフテリア、百日咳、急性灰白髄炎(ポリオ)、麻疹、風疹、日本脳炎、破傷風、結核、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、B型肝炎 HPV(ヒトパピローマウイルス)、痘そう、水痘、
-----------------------	--

## B. 細菌感染症

### (1) 猩紅熱

【原因】	A群溶血性連鎖球菌
【好発】	幼児、学童
【感染経路】	飛沫感染
【潜伏期】	2~4日
【症状】	① 高熱、咽頭痛、扁桃炎症状 (初発症状) ② 全身性発疹 (丘疹状紅斑) (1~2日後) ※丘疹状紅斑は <b>手掌や足底にはみられない。</b> <b>口囲蒼白</b> (口や鼻周囲には発疹がない) <b>イチゴ舌</b> ※1
【診断方法】	血液検査 <b>ASO、ASK陽性</b> 白血球数増加、CRP陽性
【治療法】	ペニシリン系抗菌薬
【経過・予後】	<b>糸球体腎炎やリウマチ熱の続発もある。</b>

※1 イチゴ舌は猩紅熱以外に川崎病でもみられる。